

## 溝尻地区で阿蘇海アサリ調査結果を報告

当センターでは、天橋立の内海である阿蘇海で大量に発生するアサリ稚貝を、養殖や放流用種苗として活用するため、漁業者とともに稚貝の分布調査や採集試験等に取り組んでいます。

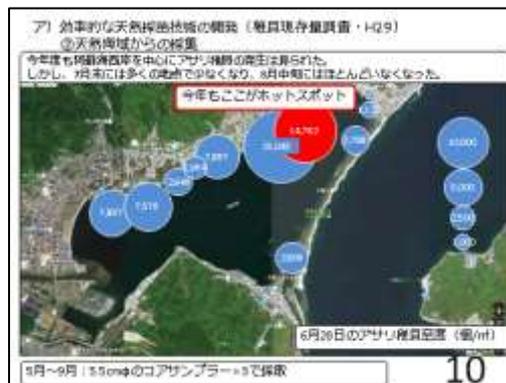
12 月 22 日に宮津市の溝尻地区において漁業者等を対象に、アサリ稚貝の分布密度やその変化、効率的な稚貝の採集、稚貝をクロダイ等の食害から守る方法、稚貝の試験販売の状況等について報告しました。

漁業者からは、来年のアサリ稚貝の採集や、アサリと砂利の効率的な分別の仕方、アサリ稚貝の保護などについて、活発な意見や質問が出されました。

今後も漁業者と協力して調査を行い、これまで未利用であったアサリ稚貝の効率的な採苗・採集技術や持続的利用のための親貝保護方法といった有効活用技術の開発を進めます。



真剣な表情で説明に耳を傾ける参加者



報告スライド